

昭和60年度花壇管理状況

藤本昭一^{*}・前田淳一

昭和60年度は大花壇で年5回、小花壇及び大温室横花壇で4回、その他の花壇で2～7回の植え替えを行い、28種58863株の草花を植え付けた。

概要及び所感

(1) 模様は幾何学模様を全体のテーマとし、大花壇では、図1～3のように相い交わる2対の平行線とそれに挟まれる三角形との組み合わせ模様を基本とし、小花壇においては、図4のように平行して走る斜線で作られる模様を用いた。

(2) 昨年とほとんど同じ植物を用いたが、春から初夏にかけて主に使っているベゴニアを今回初めて秋の小花壇及び展示資料館前に使用した。秋のベゴニアは、春と違って大株にはならないものの花上りは良く、今後別の場所でも使っていきたい。また食堂のフラワーポットに、

ネモフィラを初めて使用したが、やや日照不足の為か徒長気味であった。しかし、鮮やかな青色は花壇材料としては、たいへん魅力があり、今後他の花壇で試していきたい。

(3) 病害虫については、展示資料館前花壇において、7月に植え付けたニチニチソウに立枯病が激発した。土壌病害であるので、対策として土壌消毒と客土について検討したが、土壌改良も合わせて行なうこととして客土の方を選んだ。客土の方法は、表面から30cmの土壌を入替えることとし、完了後にベゴニアを植え付けた。客土後は、病気の発生もなく生育もたいへん良かった。このことから他の花壇でも毎年病気が発生する場合は、土壌改良を兼ねる客土が病害防止に有効と思われる。なお今年も大花壇において、マリーゴールドに立枯病や黒点病がみられ、パンジーでは、灰色カビ病が発生した。薬剤散布によって一応防止できるが、毎年慢性的に発生することから前記の客土について検討する必要がある。

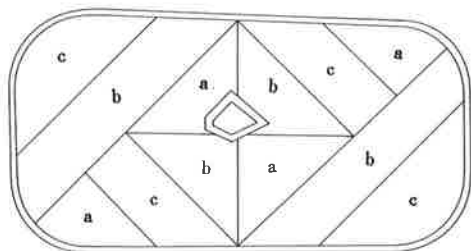


図1

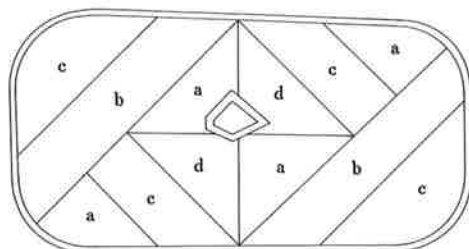


図3

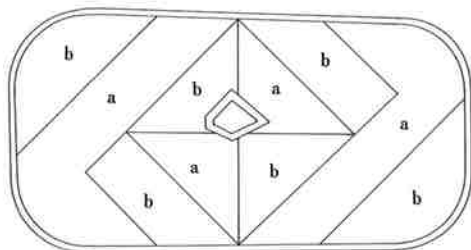


図2

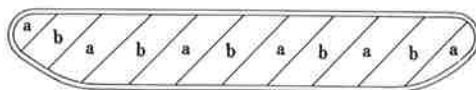


図4

^{*}現在広島市園芸指導所勤務

昭和60年度花壇植物栽培状況

回	花壇名	植付図	植 物 名	位置	株 数 (株)	面積 (m)	植付期日
1	大 花 壇	1	ベゴニア・センパフローレンス(赤) 〃 (白) 〃 (桃)	a b c	1,494 2,790 2,268	41.5 77.5 63.0	昭和60年 5月24日
	小 花 壇	4	ベゴニア・センパフローレンス(赤) 〃 (白)	b a	1,059 1,084	30.1 29.4	
2	大温室横花壇	—	ベゴニア・センパフローレンス(赤) 〃 (白) 〃 (桃)	—	432 483 576	12.0 13.4 16.0	
3	大 花 壇	1	サルビア・ファリナケア(青) サルビア(赤) フレンチマリーゴールド	a b c	1,338 1,938 1,275	53.5 77.5 51.0	7月26日
	小 花 壇	4	フレンチマリーゴールド アゲラタム	a b	753 735	30.1 29.4	
	大温室横花壇	—	サルビア・ファリナケア(青) サルビア(赤)	—	500 535	21.4 20.0	8月9日
4	大 花 壇	1	ポットマム(白) 〃 (桃) 〃 (黄)	c a b	816 856 1,240	51.0 53.5 77.5	10月31日
5	大 花 壇	2	ハボタン(サンゴ)(赤) 〃 (〃) (白)	a b	1,512 1,400	94.5 87.5	11月29日
	小 花 壇	4	ビオラ(黄) 〃 (青)	a b	1,475 1,441	30.1 29.4	
6	大温室横花壇	—	ハボタン(サンゴ)(赤) 〃 (〃) (白)	—	300 300	21.4 20.0	11月30日
7	大温室横花壇	—	ビオラ(黄) 〃 (青)	—	1,049 980	21.4 20.0	昭和61年 3月3日
	大 花 壇	3	パンジー(白) 〃 (青) 〃 (黄) 〃 (赤)	a b c d	2,034 2,695 3,087 1,103	41.5 55.0 63.0 22.5	